

正常眼圧緑内障は身近な病気です

開院5年目から勤務している、中野可古です。院長・副院長が手術中、外来診療を担当しています。大分へは当地へ勤務先が変わった夫に伴って、平成2年に参りました。大分赤十字病院眼科に勤めた後こちらのお世話になっています。

ここでは、正常眼圧緑内障の患者さんが大勢見つかっています。ほとんどの緑内障の方は、自覚症状がありません。そこで、白内障術後や、別の事で来院されて見つかる事が多いのです。眼科検査で疑われる点があった時、引き続いてもう少し詳しい検査が必要になります。当院には、経験豊かな検査員（視能訓練士）が沢山控えています。そこで信頼できる検査結果が手軽に揃えられます。皆さんには少々根気のいる検査を受けていただく事になります。時間と体調の都合がつく限り、勧められたら取り組んでいただきますようお願いします。

緑内障は最近の統計調査で、40歳以上の方の5%にあると判りました。この内7割の人が自分では気付いていないのです。眼の成人病といえ、年齢が上があれば頻度が高くなります。

緑内障は白内障と異なり治療で改善するのは難しく、現状維持が精一杯です。そこで、悪くならない内に早く見つける事が大切です。見つかった時は、点眼治療を開始して頂きます。最近は良い薬が誕生していて、失明することは殆ど有りません。見つかった時は、面倒ですが点眼治療を続けましょう。年老いて、眼で辛い思いをしないで済みたいですから。長生きすれば、充分に元が取れますよ。



中野 可古

岡山大学卒

岡山大学・九州大学・愛媛大学眼科学教室にて研修

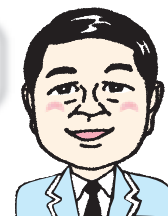
1990年 大分赤十字病院眼科勤務

1995年 大塚眼科医院勤務

現在に至る



白内障について (その2)



大塚 慎一

眼内レンズ (IOL) の話

● 眼内レンズ誕生

1950年、ハロルド・リドレイ博士は、英空軍パイロットで飛行機の風防ガラスに使われていたプラスチックの破片が眼内に飛入し、長期間たっても目の中の組織に異常を起こさなかった症例に出会い、その破片の素材であるポリメチルメタクリレート (PMMA) を使い、直径8.5mm、厚さ4mm、重さ110mgの眼内レンズを考案し、世界で初めて、白内障手術後の水晶体囊内に眼内レンズ (IOL) を挿入しました。(図①)

● 水晶体囊内固定レンズ

その後も彼はPMMA素材のIOLを使って1000例に及ぶ眼内レンズ挿入術 (水晶体囊内固定) を行いました。しかし、その当時は、手術顕微鏡もなく、レンズの形や重さ、それに消毒法などに問題があり、術後の感染症やIOLの眼内落下など多くの合併症を起こし、彼自身その後のIOL挿入術を断念してしまいました。

● 前房レンズ

その後、1960年から約20年間、水晶体をまるごと取り出す水晶体全摘出術が主流となり、この時期にIOLを角膜と虹彩の間に挿入する前房レンズ (図②) や虹彩にまたがってIOLを固定する虹彩支持レンズ (図③) が登場しました。しかし、これらは、何年か経つと、角膜内皮に障害を起こし、水疱性角膜症 (角膜が白く濁る) を起こすことが次第に分かり、現在ではほとんど使用されなくなりました。

結局、リドレイ博士が発表してから半世紀以上経った現在でも、本質的には白内障を除去して水晶体囊を残し、IOLを囊内に挿入するという方法は変わっていませんが、IOLの素材や性能はこの20年で劇的に変化しました。

● 小切開対応のフォルダブルIOL

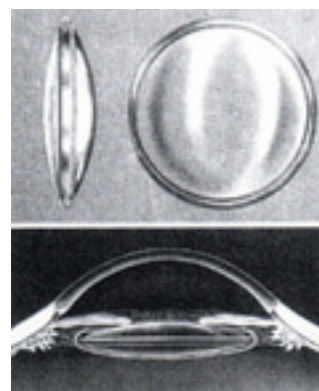
白内障手術は、水晶体囊外摘出術から超音波乳化吸引術に術式が変化したころ (20年前) は、PMMAレンズが主流でしたが、現在は小切開で挿入できる柔らかいフォルダブル (折りたたみができる) IOLが主流となっています。素材はシリコン樹脂やアクリル樹脂でできています。フォルダブルIOLは折りたためば3mmの切開創から挿入できます。さらに小さな筒状の管 (インジェクター) に包み込んで挿入すれば2.0 ~ 2.4mmの創からも挿入可能となりました。(図④)

● 付加価値IOL

最近では眼内レンズそのものに付加価値を持たせるという分野が競って研究されてきました。これには、ゆがみが少なく見える非球面レンズ、網膜保護作用をもつ着色レンズ、遠近両用の多焦点眼内レンズ (マルチフォーカルIOL)、乱視矯正眼内レンズ (トーリックIOL) などが次々と実用化されています。

今や白内障手術は、屈折矯正をも同時に行ってしまう高度な手術として目を見張る勢いで発展しています。

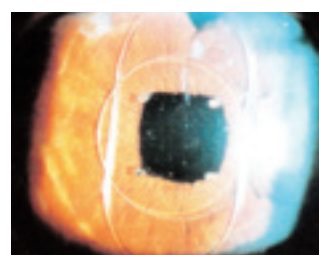
図① ハロルド・リドレイ博士
考案のPMMA後房レンズ



図② 前房レンズ



図③ 虹彩支持レンズ



図④ インジェクター



平成23年9月3日（土）
第160回大分眼科集談会
が開催され、当院の院
長、大塚慎一が発表しま
した。



〈本人のコメント〉

久々の学会発表で緊張しました。2症例を報告しましたが、私自身大変勉強になりました。これからも積極的に学
会発表に取り組んでいきたいと思います。

平成23年11月19日（土）第
52回日本視能矯正学会が
開催され、当院の視能訓
練士、後藤が特別講演で発表
をしました。



〈本人のコメント〉

全国規模の学会ということで、とても緊張しました。
新人～ベテランの幅広い層に基礎的なことから最新の情報
までを伝えることが求められましたので、スライド作りの際
どのようにしたら分かりやすくなるか考え、教科書を読み直
し、先生に尋ねることで、自分自身の勉強になりました。
今年一番の大仕事が終わりはホッとしています。今回の
ことで新しい知識を得て今までの知識の再確認もできまし
たので、今後の仕事に生かしたいと思います。

平成23年 当院の学会参加一覧（9月～12月）

H23.9.3	大分眼科集談会(大分)	5名	H23.10.14	九州眼科フォーラム(福岡)	4名
H23.9.10～11	日本眼科看護研究会(宮崎)	5名	H23.11.19～20	日本視能矯正学会(神奈川)	2名
H23.10.7～10	日本臨床眼科学会(東京)	7名	H23.12.2～4	日本網膜硝子体学会(名古屋)	4名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は
早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

1月	2月	3月	4月
7日(土) 網膜専門外来 福島県立医科大学 教授 飯田先生	4日(土) 硝子体手術 (福岡)望月眼科医院 院長 望月先生	3日(土) 硝子体手術 名古屋市立大学 教授 小椋先生	7日(土) 硝子体手術 (福岡)望月眼科医院 院長 望月先生
12日(木) 白内障手術 (東京)井上眼科病院 副院長 徳田先生	7日(火) 眼瞼手術 (横浜)岡田眼科 副院長 宮田先生	9日(金) 硝子体手術 (福岡)林眼科病院 副院長 吉村先生	14日(土) 硝子体手術 大阪労災病院 副院長 恵美先生
14日(土) 糖尿病網膜症外来 東京大学 准教授 加藤先生	10日(金) 硝子体手術 (福岡)林眼科病院 副院長 吉村先生	15日(木) 硝子体手術 (宮崎)浮之城眼科 院長 鳥井先生	27日(金) 緑内障専門外来 琉球大学 教授 澤口先生
14日(土) 眼瞼手術 京都府立医科大学 渡辺先生	18日(土) 硝子体手術 大阪労災病院 副院長 恵美先生	24日(土) 眼瞼手術 京都府立医科大学 渡辺先生	
20日(金) 緑内障専門外来 琉球大学 教授 澤口先生			
21日(土) 涙道内視鏡手術 (岡山)すぎもと眼科 院長 杉本先生			



専門医紹介 3

宮田先生

岡田眼科（横浜市）副院長



2011年5月 第24回ドイツ眼
科手術学会にて表彰されました。

宮田先生は眼科レーザーメスの使い手、眼瞼下垂手術の
スペシャリストとして非常に有名な先生で、鮮やかな手術
の発表で国内外で数多くの表彰を受けています。

各地の医療施設からの手術依頼で大変ご多忙の中、当院
でも炭酸ガスレーザーを用いた眼瞼下垂手術を数多く執刀
していただいています。

宮田先生の診察や手術をご希望の方は当院スタッフまで
ご相談下さい。

講演会

当院では、ロービジョンケアにも取り組んでおり、10年前から大分県立盲学校で1年に1度開催される「学校公開」に数名のスタッフが、交替で参加しております。この度、平成23年11月22日に大分県立盲学校の校長 岡本先生に当院でお話を頂きました。盲学校卒業生が保育士になったり、大学で研究室に入っていたりいろいろな分野で活躍していて、私たちが考えている以上に職業の幅が広がっているようです。また、盲学校は先天視覚障害の方が主なのですが、中途視覚障害の方たちも入学して頑張っているようです。これからも盲学校と連携をとってロービジョンケアの分野も力をいれていきたいと思っております。



岡本先生



診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:30	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田 第2木曜日のみ 大塚 中野	大塚 野田	大塚 野田
午後 14:00 ～ 18:00	中野	中野	中野	午後 休診	野田	午後 休診
手術日 (午後)	白内障	白内障	白内障	—	翼状片 眼瞼下垂 内反症	—

※専門医による硝子体手術・緑内障手術・眼瞼手術・涙道手術は随時行っています。

※受付時間は午前7:30～午後5:00までです。

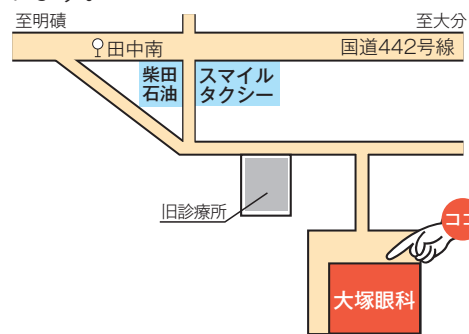
※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。事前に電話にて御予約をお願い致します。



ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術案内や、交通アクセスなどが掲載されています。



広報部編集委員

野田
(副院長)
井上
氏川
野崎
小野
植木
本幡



大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

